

事業計画書

事業名	大口れんこんでつなぐ輪, 「ふるさと元気れんこんクッキー」 開発プロジェクト
事業実施の目的	<p>学校では, 地域の特産物「大口れんこん」の植え付けから収穫と販売の体験学習を通じて, コミュニケーション力, 勇気やチャレンジ精神, 発信力を鍛えてもらい, 上通の地域の方々, 大口れんこん生産組合, ながおか市民協働センターの皆さんに, ふるさとへの愛着と誇りを育てていただいた。</p> <p>今年度, 体験学習に先立ち学んだ地域の農業の後継者不足や高齢化の現状を聞き, 6年間の恩返しといつもお世話になっている地域を元気にしたいという思いを子どもがもった。そこで保護者と子どもが呼びかけ, 地域の方と一緒に地域全体が元気になるプロジェクトを立ち上げ実施することで恩返しをし, 地域も学校も元気にする。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の農業の現状から, 地域を元気にしたいという思いをもつ。 2 地域を元気にするには, 何ができるのかを考える。 3 二分の一人式で配ったクッキーを, みんなで作って, 「はなはす・れんこん・かみどおりプロジェクト」(今年度で7年目の中核の教育活動)の冬のプロジェクトで, 大口れんこんの良さをPRするが, これに加えて児童, 保護者, 地域と一緒に作った「ふるさと元気れんこんクッキー」を配布する 4 同時に与板地域の田中園の「大口れんこん茶」のパッケージデザインのコラボも実現させ, 「大口れんこん」の可能性を広く広めることで, 地域を元気にする一翼を担う。
事業実施までのスケジュール	<p>6月: 地域への恩返しをしたいという思いを持つ : 保護者に意見を求め, 地域を元気にし, 恩返しできるプロジェクトを立ち上げる : 第1回れんこんクッキー試作と試食</p> <p>7月~8月: 保護者, 地域, 栄養士, 調理員等に試食してもらい, 味の感想を求め, レシピの改善点を明らかにする。</p> <p>9月: 改善するために, 地域の専門家の意見を聞く。</p> <p>10月~11月: 第2回れんこんクッキー試作と試食でレシピ完成 : ふるさと元気れんこんクッキーのネーミング, パッケージデザイン制作</p> <p>12月: 芽れんこんとクッキーレシピに, 焼きあがったクッキーを添えてPR配布する。広くマスコミにリリースし, ふるさと意識の醸成に努める。</p>
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの特産品「大口れんこん」を, 地域や保護者と一緒に開発したクッキーと共に, 広めるPR活動を通して, ふるさとへの愛着と誇りを育む。 ・親子や地域ともに取り組む社会に開かれた教育課程の実施を, 広くマスコミリリースし, PRする。そのことで地域の人たちにも自信と誇りを育み, 地域を元気にする。 ・新時代のふるさとを支える人材育成の基礎づくりや地域コミュニティーの再構築が期待できる。

※ 事業の内容は, 詳細に記載してください。(別紙可)